

# 公益の風 #25

東北公益文科大学 准教授

植田 和 憲



今年の4月に東北公益文科大学(以下、公益大)に着任いたしました植田和憲と申します。今後お世話になることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。専門分野はコンピュータネットワークで、これまでは広域ネットワーク管理、分散型データ配布システム、柔軟な無線ネットワーク構築といったテーマ、現在は無線機能を備えた多数のセンサーデバイスを広域に配置してデータを収集するセンサーネットワークについてのテーマを主として研究を行っています。

## 「ネットワーク」でつなぐもの



酒田キャンパス

なります。私は、センサーデバイス間の経路制御すなわち、このバケツリレーにおいて誰と誰をつなげばよいかの決定方法についての課題に取り組んでいきます。

コンピュータネットワークに関する研究は大学院時代にスタートさせ、現在に至っております。が、前々職では名称に「公共」を含む大学院に助手として所属しておりました。当時、私は自身の研究分野の知識やスキルを活かしコンピュータ室やインターネット接続環境の運用管理などを行っていましたが、所属教員や大学院生は「公共」をキーワードに経済学や法学をベースとした教育および研究を行っていました。今回は「公益」を掲げる組織に所属させていただいたことに、不思議な縁を感じています。

また、公益大に移ることが正式に決まってからしばらくして、分担で授業を担当していた教員の方と話す機会がありました。その際、前職の大学院で公益大からの進学者を受け入れたことがあり、その縁でとある公益大の教員と面識があるとお聞きしました。研究発表の場などで同席し面識があるのはよくあることですが、このようなケースは珍しく、人とは意外なところでつながっているものだと思えました。これもひとつの縁なのだと思います。

「ネットワーク」という用語は、コンピュータだけでなく、人やもの同士のつながりを表す用語です。これまで私は多くの人と関わり、興味の赴くまま、あるいは必要に迫られさまざまな知識に触れてきました。そのことがこれまでのキャリアや教育、研究活動に影響を与え、いくつかのつながりは重要な要素として今日の私を形作ってきたのだと、改めて実感しています。今後、いろいろな縁を感じつつ、時に自身を形成する「ネットワーク」をよりどころとして精進していきたいと思えます。

具体的な課題として、データの転送経路、すなわち各センサーデバイスによるデータの配送先の選定が挙げられます。機器が非常に広い空間内に散在している場合、特定の機器が他のすべての機器と通信する集中型のデータ集約は困難です。そのようなとき、バケツリレーのように直接通信可能な機器同士によるデータ転送を繰り返すことで目的の機器へのデータ転送を達成することに



鶴岡キャンパス

敬天愛人2023年7月号Vol.172掲載 ( 荘内日報社発行 )